

ほけんしつだより

～ かしこいからだとタフな心を ～

大阪府立大手前高校

No. 11

2021.3月

新型コロナウイルスに振り回された1年でしたね

令和2年度は4～5月の休校から始まる異例の1年でした。学校生活も各行事も大幅な変更や制限を余儀なくされました。それぞれが思い描いていた学校生活と違う状況となり、多くの我慢をし、いろいろな思いを飲み込んできたことでしょう。「自由に移動し、自由に集まり、自由にしゃべる」このささやかな当たり前のことがどんなに自分たちの活力となっていたかを思い知らされる日々でした。大阪の緊急事態宣言は3月から解除されましたが、まだまだ感染対策は気を抜かずに行き続けていきたいと思います。そんな中ですが、この春休みは、少しでも心やからだのリフレッシュができますように。

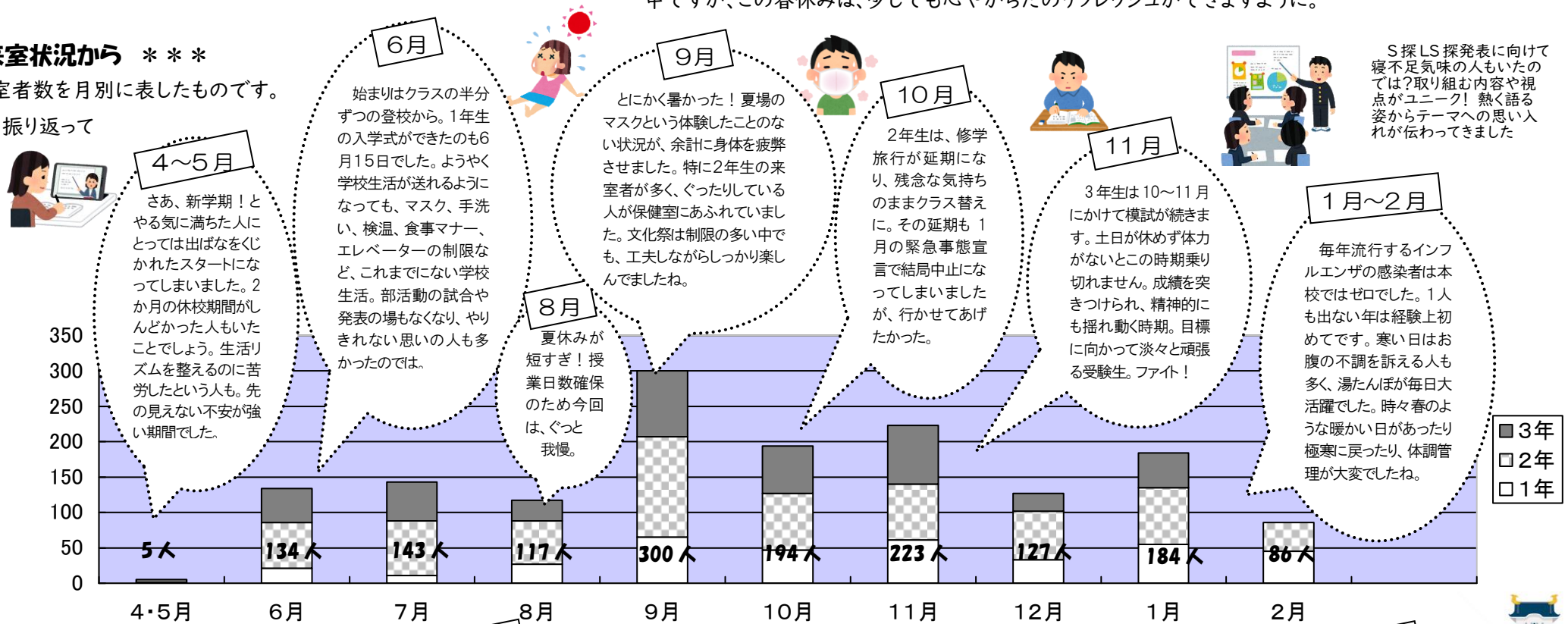
*** 1年間の保健室の来室状況から ***

下記のグラフは今年度の保健室来室者数を月別に表したものです。この特別な1年を保健室の様子から振り返ってみました。

内科的な主訴

合計 1513人

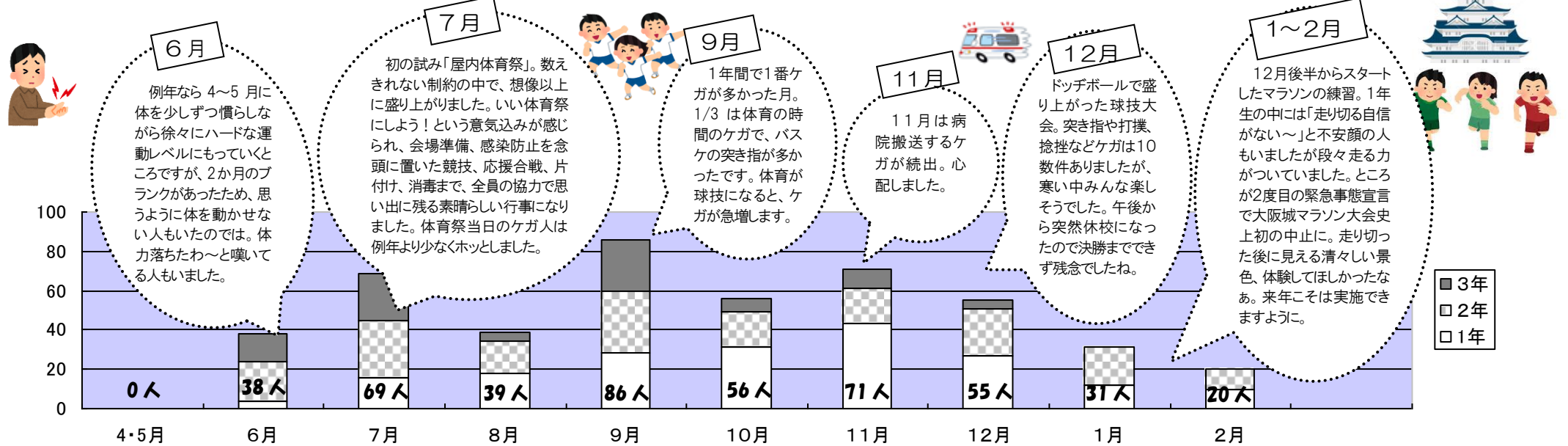
6月～12月は昨年の同時期と比べると来室者はなんと**1.4倍!** 暑い時期はしんどさを訴える人がとても多かったです。保健室が満杯状態もしばしばでした。ストレスによる不調の人も例年より多かったように思います。一方、1～2月は、風邪症状を訴える人が減少。マスク、手洗いの感染予防効果の表れですね。



外科的な主訴

合計 465人

ケガも、昨年と比較すると増加しました。7～9月の暑い時期は特にケガが増えています。2ヶ月の休校期間中、十分に身体を動かすことができず、運動不足だったことも影響しているのでしょうか。ソーシャルディスタンスをとりながらの運動も、やりにくかったことと思います。



S探LS探発表に向けて寝不足気味の人もいたのでは? 取り組む内容や視点がユニーク! 熱く語る姿からテーマへの思い入れが伝わってきました

毎年流行するインフルエンザの感染者は本校ではゼロでした。1人も出ない年は経験上初めてです。寒い日はお腹の不調を訴える人も多く、湯たんぼが毎日大活躍でした。時々春のような暖かい日があったり極寒に戻ったり、体調管理が大変でしたね。

12月後半からスタートしたマラソンの練習。1年生の中には「走り切る自信がない～」と不安顔の人もいましたが段々走る力がついていました。ところが2度目の緊急事態宣言で大阪城マラソン大会史上初の中止に。走り切った後に見える清々しい景色、体験してほしかったなあ。来年こそは実施できますように。